

サパティスタの同志のみなさん
世界の闘う女性のみなさん
祖母、母親、姉妹、若者、子どものみなさん
女性の心を持つみなさん

この言葉を書いている私たちは、2018年の3月8日にサパティスタの呼びかけによって「第一回闘う女性たちの国際・政治・芸術・スポーツ・文化集会」に集まった、メキシコと世界の女性です。

ひとりひとりが、自分の出身地やいまいる場所から、そしてさまざまな文化や立場から、「どんな肌の色であれ、どんな身体の大きさであれ、どんな出自であれ、これ以上女性がひとりとして、孤独を感じたり恐怖を抱いたりすることのないように」闘うと約束したことを、私たちは忘れません。私たちの集会であなたたちが私たちに分けてくれた光、あなたたちが私たちのためにいると教えてくれた光に、私たちは約束します。ともに存在し、歩み、闘うために、その小さな光を守りつづけます。

そのために、私たちはきょう表明します。あなたたちに根を与え、鼓動を与え、存在や夢への指針を与える領土を、悪しき諸政府があなたたちから奪うようなことを繰り返さない、と。また、祖先から受け継がれた文化をフォークロア化するため、つまり、家父長的な資本主義システムという、死の、病的なイニシアチブを正当化するために、先住民の抵抗の実践が利用されることのないように、私たちはさまざまなやり方で告発をおこないます。

女性として私たちが生き続けている戦争の状況をまえに、「私たちは生きることに合意しました。それは、それぞれが自分のやり方、場所、時間にしがって闘うことに合意することでもありました。私たちにとって、生きることは闘うことであるからです」。

世界のさまざまな場所にいる、昨日までの、そして今日の悪しき諸政府にむかって、いまこう言うべきです。私たちは複数の場所から、私たちの母なる大地における、(企業への)権利委譲、資源採掘、利用権の保持といった実践を拒絶します。(水圧破碎法による地盤からの)資源採掘、ガス・パイプライン、水力発電、モノカルチャー農業、観光開発のためのインフラ整備は、企業の巨大プロジェクトのみに恩恵をもたらし、その犠牲として先住民・非先住民の居住地を破壊します。金をどんどん稼ぐことへの利害関心に対抗して、私たちは、それぞれの領土に住む人々と生きものの「いのち」のために闘います。

私たち女性はいのちの価値を知っています。だから、いのちのために構築します。集団の心を持って、私たち女性にはできるのです！ 私たちのサパティスタの同志、友人、姉妹、そして、その息子たち、娘たち、家族、プエブロは、独りではありません！